

栃木県農業信用基金協会

1. 栃木県の紹介

栃木県は、関東平野の北端に位置し、東は茨城県、西は群馬県、南は埼玉県、北は福島県に接する海なし県で、人口は190万人です。関東では最大の面積を有し、西北部は世界に誇る日光国立公園を中心に、福島県境に連なる那須連山と相まって美しい山岳地帯を形成しています。南部・東部はほとんどが関東平野の一端であり、農商工調和のとれた地域となっており、首都圏の一角を成しています。

当協会の所在地である県都宇都宮市は東京から90km、JR東北新幹線で50分といった県のほぼ中央部に位置する、人口51万人の中核市です。

本県で自慢できるものを一つ紹介します。定番ではありますが、世界遺産「日光の社

寺」の中で最も有名な徳川家康を祀る「日光東照宮」です。境内には、一日中眺めていても飽きないことから日暮らし門とも呼ばれる「陽明門」をはじめ、国宝8棟、重要文化財34棟を含む55棟の建造物が並び、どれも芸術作品のように細工が施され、その豪華絢爛な美しさは圧巻です。コロナ禍では来訪者も大きく落ち込み閑散としていましたが、今では以前のように国内外問わず多くの観光客が訪れています。6か年をかけた大修理も終了し、煌びやかさを取り戻した「日光東照宮」をどうぞ間近にご覧いただければと思います。



2. 栃木県の農業

栃木県は、古くは「下野（しもつけ）の国」と呼ばれており、「け」は「毛（穀物）」を意味し、五穀に恵まれた豊かな土地とされていたようです。これは現在にも当てはまり、平坦で広い農地、豊富な水資源、穏やかな気候等農業に適した条件を生かし、日本一のいちごをはじめ、米、生乳、にらなど全国に誇れる農産物が生産されています。

栃木県の令和3年の農業産出額は2,693億円で、全国順位は9位となっています。産出額割合としては、米・麦18%、園芸（野菜・

果物・花など）32%、畜産（肉牛・乳牛・豚など）48%、その他2%です。

とちぎ自慢の農産物

<p>全国1位</p>	<p>いちご</p> <p>栃木県は、生産量が半世紀以上にわたり日本一のいちご。新品种「とちあいか」の生産が増加しています。</p>	<p>うど</p> <p>独特の味と香り、歯ざわりが魅力のうど。種は天ぷら、皮はきんぴら、茎は酢の物など、余すところなく食べられる優れたものです。</p>
	<p>かんぴょう</p> <p>300年以上前に栽培が始まり、生産量が全国の99%以上を占める特産物。原料のゆがおは、新たな食材として活用されています。</p>	<p>麻</p> <p>栃木県で作られる精麻は「野州麻」と呼ばれ、強度があり、利用価値が高いとされています。伊勢神宮のしめ縄にも使われています。</p>
<p>全国2位</p>	<p>二条大麦</p> <p>県内全域で生産される二条大麦は、ビールやお菓子の原料などになります。そのうち、ビールの原料となる「ビール大麦」の収穫量は全国1位です。</p>	<p>にら</p> <p>県内全域で生産され、1年を通して出荷されています。県オリジナル品種「ゆめみどり」の作付面積が拡大しています。</p>
	<p>生乳</p> <p>冷涼な県北地域を中心に乳用牛が飼育されています。生乳の生産量は北海道に次いで全国2位です。</p>	<p>こんにゃくいも</p> <p>こんにゃくの原料であるこんにゃくいもの生産は全国2位。県西部及び東部の中山間地域を中心に生産されています。</p>

3. 栃木県農業信用基金協会の概要

当協会は、理事 14 名（常勤 1 名）、監事 3 名の役員 17 名、職員 16 名で、総務部・審査部・管理部の 3 部体制で業務を行っています。



4. 栃木県農業信用基金協会の活動

当協会の令和 4 年度の保証引受額は、310 億円（農業関係資金 2 割、生活関係資金等 8 割）、保証残高は 1,985 億円で過去最高の残高となりました。（前年度比 105%）

農業関係資金については、保証料率の引下げや J A バンク保証料助成制度を活用した推進、資材価格高騰に関する資金等の取扱いなどを実施したこともあり、保証残高が 206 億円となりました。（前年度比 108%）

生活関係資金については、他保証会社との競合もあり、住宅ローンの当協会保証シェア率が一時は 67% となりましたが、保証料率の引下げや保証条件の見直し（資金用途の拡大含む）、全般として業務委託手数料の支払い継続実施（平成 22 年度～）、出向く体制の強化等により令和 4 年度末は 73% に回復しました。

出向く体制の強化については、平成 30 年度より保証推進企画担当 2 名を設置し、融資

機関等に訪問し、要望事項のヒアリングをはじめ保証申込書類の作成支援など行い、きめ細やかな推進を図ることとしました。

さらに、職員の福利厚生の一環として健康促進や団結を目的に当協会野球部を発足しましたが、今では試合を通じ J A 等とのコミュニケーションを取る一つの手段となっています。当協会への試合のお申込み、随時受付中です!!

今後も将来にわたり、安定的・持続的な事業運営ができ、農業者等、そして融資機関から選ばれる保証機関であるよう、役職員一丸となり業務に取り組んでまいります。

栃木県 JA ビル

